

↓平成29年5月28日 読売新聞 全国版14面



座りたい時に、ヘルプマークを見せると説明しやすいため好評だ。京都府や和歌山県など7府県も普及に協力している。課題は、多くの人にマークの意味を

知ることから始めよう

障者地域生活支援センターさくらのセンター長、藤巻鉄士さん(49)は、「バスや電車で施設に通う人も多い。おおらかに見守ってほしい」。子どもたちにマークや障害のことを知ってもらう活動も計画している。まずは知ること、それが配慮への第一歩かもしれない。(安田武晴)

メンバで区立大泉障者地域生活支援センターさくらのセンター長、藤巻鉄士さん(49)は、「バスや電車で施設に通う人も多い。おおらかに見守ってほしい」。子どもたちにマークや障害のことを知ってもらう活動も計画している。まずは知ること、それが配慮への第一歩かもしれない。(安田武晴)

「ヘルプマーク」は写真を見ればわからない病気や障害のある人が、周囲に配慮を求めるマークだ。東京都が2012年度に作った。バッグなどにぶら下げられる縦8・5センチ、横5・3センチの赤いプレートに、白い十字とハート。今年3月末までに約16万5000個を、地下鉄の駅やバスの営業所などで無料配布した。



現場から 記者メモ

知ってもらおうことだ。東京都練馬区大泉地区の23の社会福祉法人で作る連携組織「大泉法人ネット」は昨年12月、地域でマークのPR活動を始めた。各法人の職員が仕事の合間に、駅や商店などにチラシやポスターを配っている。また同ネットは、知的障害や発達障害のある人にもプレートの利用を勧めている。そうした人の中には「ぶつぶつ独り言を言う」「バスや電車を待つ列にきちんと並びたい」「無料の配布物を片っ端から取っていく」といった行動をとる人もいる。障害の特性を知らない、戸惑い、迷惑に感じられるかもしれない。マークを身に着けることで、それが理解と配慮に転じていけば……。

「大泉法人ネット」

平成28年度～ 社会福祉法改正により社会福祉法人の地域での公益的取り組みが義務化。



平成27年度～ 上記義務化に先立ち、練馬区社会福祉協議会が区内社会福祉法人を対象に「社会福祉法人等の社会貢献事業におけるネットワークづくりに向けた連絡会」(現ねりま社会福祉法人等のネット)を設置した。全体会を開催するとともに、福祉事務所単位の4地区においても各地区ごとに連絡会を開催し、地域特性、課題に沿った具体的な取り組みを検討開始。



大泉地区は「大泉法人ネット」を作り具体的な取り組みを検討し実施している。



これまでの主な取り組み

1. お互いを知るきっかけづくりとして、参加法人施設の場を活用して連絡会を実施。
2. 大泉法人ネットメール(ネットワークメール)の作成および活用。
3. 各施設を知り、相互に事業を活用するための情報共有シートの作成。
4. 就労体験、ヘルプマークの広報による利用者支援等の具体的な活動を実施。

取り組みのひとつがヘルプ・マークの広報

ご協力いただいている町の方々の一例



東大泉2丁目 マツダ電気さん



大泉学園駅北口 ゆめーてる商店街 洋々舎クリーニングさん



桜台駅北口 そば処東嶋屋さん

作業所の通所途上で、地域の学生とのトラブル発生



ご本人は知的障害があり言葉で伝えられない。
何か学生に言いたいことがあったのでは？



学生→家族→学校長→警察→駅→警察連行

言葉による取調べと調書、自書の反省文
(ご本人は話せず、ほとんど字が書けないが…)

「二度とトラブルを起こさないで下さい」「逮捕もあり得ます」

長年通いなれた作業所に通いたい
気になることを適切に表現するのはまだ難しい
障害状態を変えなければ一人で地域を歩けないのか…

関係者会議を開催して繰り返して検討

- ①付き添っての指導は既に数ヶ月実施済み
- ②作業所の通所には移動支援サービス支給なし
- ③家族がずっと付き添うのは困難
- ④自宅の近くに代替りの作業所はない

ご本人に教え続けながら、通所環境を変える
(学生や通勤客の少ない複数の通所ルートの検討～職員の試乗～ルート変更)
そしてそもそも、【トラブル～連行】の過程で、誰も彼の障害に気づかなかったのか？

他にもたくさんある、この町での
障害への配慮を欠くできごと

町を変えないと
だめかも…

配慮が必要だと周囲にわかる何かを…そして障害への理解を…



ヘルプマークが地域に知られていなければ！

- ①フライヤー5,000枚作成と地域への配布
- ②ポスター掲示(駅、警察、商店街…)
- ③大泉法人ネットを通じたリーフレット配布と
ポスター掲示のお願い
- ④学校への説明、ポスター掲示と学生への
説明を依頼(予定)

《連絡先》
練馬区立大泉さくら ☎ 3925-7371